

神戸リハビリテーション病院だより

第2号 平成30年10月1日 発行

病院長就任のご挨拶

神戸リハビリテーション病院 病院長 山本満雄



このたび7月1日に病院長に就任しました山本です。

これまでは、神戸市立医療センター西市民病院に長く勤務しておりました。神戸リハビリテーション病院は、回復期リハビリテーション専門病院として、一人でも多くの患者さんが自立し、住み慣れた地域や自宅に帰って心豊かな生活が送れるよう、医師・看護師・セラピスト・介護職等のチーム医療により、在宅復帰を目指しています。

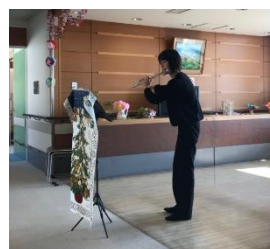
病院長として、病院や地域医療の発展に貢献できるよう最善を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

フルーツ演奏会を毎月開催しています♪

当院では、フルーツ演奏家 平川慧富（ひらかわ けいふ）さんによる演奏会を毎月開催しており、入院患者の皆さんは楽しく鑑賞されています。

10月の予定は以下の通りです。

10月 3日（水）12時20分頃～	第2病棟	〔曲目〕
10月10日（水）12時20分頃～	第3病棟	「虹」・「お楽しみ」
10月17日（水）12時20分頃～	第4病棟	・「七つの子」



しあわせの村にATMが設置されました！

しあわせの村本館にコンビニエンスストア「ニューヤマザキデイリーストア」が6月30日にオープンし、ATMが設置されました。

利用時間は8時～20時です。

ゆうちょ銀行、JAバンクなどは手数料無料で利用できます。（公共料金等の振込も窓口で行うことができますので、ご利用いただきますようご案内させていただきます。）



こうべ福祉・健康フェアに出展いたします♪

日時：10月7日（日）10時～16時

場所：しあわせの村 体育館

病院のスタッフが参加し、今年は血圧測定、体組成測定、フレイルセルフチェック、結果説明、各種相談等を実施する予定です。



発行：神戸在宅医療・介護推進財団

住所：神戸市北区しあわせの村1番18号

電話：078-743-8200

FAX：078-743-8211



空調設備更新工事のお知らせ
9月18日から11月30日（予定）

「しっかり噛んで食べることは元気で長生きのコツ」と言われています。

「フレイル」とは「frailty=虚弱」からきていて「オーラルフレイル」とは口の機能のささいな衰えが体の衰えにつながるという考え方です。症状として加齢とともに噛めない食品の増加、わずかなむせや食べこぼし、滑舌低下などがあり主に筋肉の衰えが原因である場合が多いと考えられています。

そのため高齢者では口の機能低下が食欲の低下や栄養状態の悪化につながり、筋力が低下し介護が必要になり、社会活動ができなくなります。早めに「オーラルフレイル」のサインを見逃さず対処、予防していくことが大切です。

口の機能を良好に保つためには定期的な歯科検診や必要な治療を行い、歯の喪失を予防し補い、しっかり噛める状態を保つことが重要です。

また、唾液腺マッサージや「お口の体操」を食事の前に取り入れると効果的です。

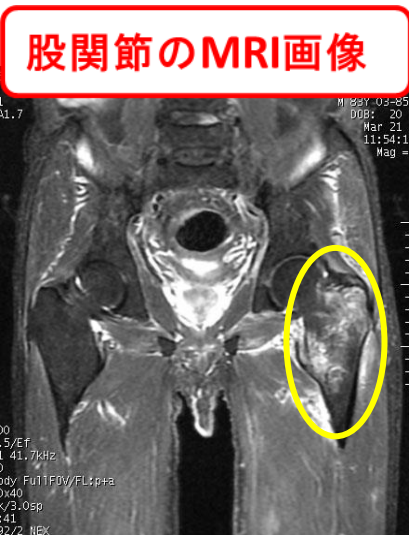
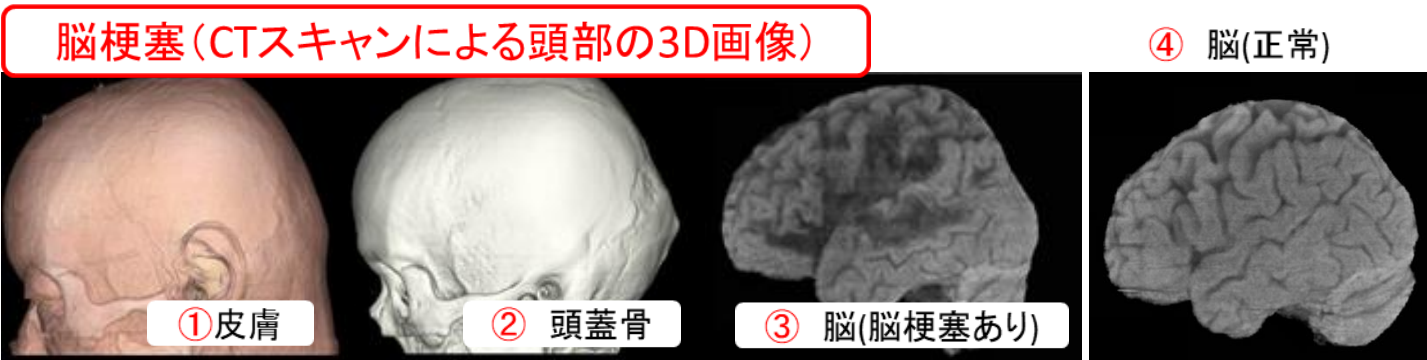
歯や口の機能が維持できている人ほど生活機能も高いという関係も明らかになっており、毎日のお口のケアや体操が重要です。患者さんに合った方法をアドバイスしていきます。



放射線科では、技師4名が患者さんを正確・丁寧に撮像し、分かり易い画像の提供を心掛けています。

先ず紹介させていただくのは、脳梗塞を発症した患者さんのCTスキャンによる頭部の3D画像です。

右側の正常な脳(図④)と比較すると、(図③)の脳の方が、脳梗塞の部位が黒く写っており、その違いがお分かりいただけます。



股関節のMRI画像

左図は、股関節のMRI画像です。MRI検査は、X線検査では分かり難い骨挫傷や骨壊死、炎症の状態が描出できます。(骨挫傷や骨壊死の場合、黄色円のように白く濁って写る)

右図は、股関節骨折後の骨接合術のX線画像です。X線検査では固定の状態が描出されており、骨の癒合具合や固定具の緩みのチェックができます。(緑色円のように骨を固定する固定具が白く写っている)



股関節骨折後、骨接合術のX線画像